

地域医療連携室より

「入職から半年が経って」

医療ソーシャルワーカー 山崎 亜紀子

ご縁があつて、この4月より入職させていただきました社会福祉士の山崎亜紀子です。あつという間に半年が過ぎました。多くの方に支えられて、慣れない業務に取り組むことができました。何とか続けられたのも皆様のおかげだと思っております。

私は大阪の北部、茨木市にある公的急性期病院で20年間、社会福祉士として勤務して参りました。その病院は介護老人保健施設、小規模特別養護老人ホーム、地域包括支援センター、訪問看護、居宅介護支援事業所からなる医療福祉センターの中核を担っており、マキノ病院に似ているなと思っております。その中の福祉相談室で働いておりましたが、業務として地域医療連携室が独立して存在してしまいましたので前方連携を担当せず、後方支援や無料低額診療事業に関わってきました。この度、自分自身が生まれ育った高島市で仕事したいと思ひマキノ病院にお世話になることとなりました。

今までも、私自身の子供が小児科や皮膚科でお世話になっており、スタッフの皆さんの優しい対応には感謝しておりました。

マキノ病院は、「治し支え寄り添う医療を心から」を目標にかかげ、急性期病床、地域包括ケア病床、医療療養型病床を持つ地域密着型の病院です。そのため、急性期病床の退院調整だけでなく、レスパイト入院や医療療養型病床の受入れも入退院支援部門で積極的に行っているところに当初は驚

き、少しとまどいました。しかし、マキノ病院の医師は医療に対して積極的で、われわれスタッフとの距離も近く、受入れについても協力的で非常に連携がとりやすいと感じております。地域のケアマネージャーさんからの急な依頼もできるだけ早く先生方や病棟スタッフと相談して対応し、患者さん・ご家族の要望に答えられているのではないかと思います。レスパイト入院とは、介護・介助にあたるご家族等の事情で介護・介助が困難になった場合や、介護者の身体的・精神的な疲労により一時的な休息をとる場合に利用できる「在宅医療を支えるための入院」のことです。一定の制限等はありませんがマキノ病院なら安心してお任せいただけたと思います。

退院支援は、入退院支援部門において非常に大切な業務の一つです。退院支援とは、患者さんが退院後も安心して療養生活を送れるように支援する取り組みです。退院支援の目的は、患者さんの生活状況やニーズを把握、退院後の療養生活に必要なサービス支援を提供することです。退院支援には、医師・看護師・薬剤師・栄養士・リハビリスタッフ・社会福祉士など多職種がチームとなり関わります。先日、在宅での看取りを前提とした退院支援に関わることができました。90代の女性で、老衰でご飯が食べられなくなり、点滴目的で入院されていた方が、ある日「家に帰りたい。」と言ひ出されました。病

院スタッフも患者さんの希望を尊重し

たいと考えましたが、ご家族は「点滴して元気になって口からご飯が食べられるようになって帰ってきて欲しい。」とのことでした。ご家族の在宅での負担を考えると、ごく普通の考えだと思ひます。医師や看護師判断では口からご飯が食べられるようになるのは難しいと考えました。ご家族を含めた医師、担当看護師、リハビリ担当者、ケアマネージャー、社会福祉士で退院前カンファレンスを幾度となくもち、当初は自宅から週2回ほど通院して点滴を続け、状態が悪くなればすぐに入院するという

ことで、在宅療養を選択されました。訪問看護も加わり、マキノ病院がバックアップしてくれているという安心感がご家族に伝わり、在宅での生活が始まりました。自宅に退院されて3週間後、ご家族の見守る中自宅で静かに息を引き取られました。初めは自宅での介護に心配されていたご家族も大変感謝されていたと伝え聞いております。私も医師がカンファレンスに参加し、多職種で熱心にディスカッションされているのを見て感動いたしました。今後社会福祉士として病院と地域をつなぐ橋渡しを行い、こういう機会を通じて、厚労省の推奨するアドバンスケアプランニング(ACP)・人生会議につなげていけたらとも考えています。

マキノ病院は、医療だけでなく在宅系の訪問リハビリテーション、訪問看護、小規模多機能型居宅介護にも力を入れており、高齢化の進む地域の皆様に安心して住み続けていただけるよう、地域包括ケアシステムの中核を担っていると自負しております。私も微力ですがこれからも

たいと考えましたが、ご家族は「点滴して元気になって口からご飯が食べられるようになって帰ってきて欲しい。」とのことでした。ご家族の在宅での負担を考えると、ごく普通の考えだと思ひます。医師や看護師判断では口からご飯が食べられるようになるのは難しいと考えました。ご家族を含めた医師、担当看護師、リハビリ担当者、ケアマネージャー、社会福祉士で退院前カンファレンスを幾度となくもち、当初は自宅から週2回ほど通院して点滴を続け、状態が悪くなればすぐに入院するという

マキノ病院で頑張り、地域の医療・介護・福祉に貢献したいと考えております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



季節性インフルエンザ 予防接種について

今年度も、季節性インフルエンザワクチンの予防接種をさせていただきます。今年度は9月20日より、新型コロナウイルスの追加接種(XBB対応ワクチン)が始まり、既に接種済の方や予定されている方がおられると思ひますが、インフルエンザワクチンと新型コロナウイルスワクチンの接種間隔に関する規定はなく、同日接種も可能です。今年度は例年より流行が早まる可能性が高いと言われておりますので、接種を希望される方はなるべく早い時期に接種して下さい。特に65歳以上の方、基礎疾患を有する方、妊婦、小児の方については、重症化予防のために積極的なワクチン接種が推奨されています。

接種開始時期 10月2日(小児接種予定 10月24日)

※予防接種に関する詳細は受付またはお電話にてお問合せ下さい。

小児予防接種の予定(10月・11月)

	混合ワクチン・麻疹風疹混合・BCG・日本脳炎・ポリオヒブ・肺炎球菌・子宮頸がん・水痘・おたふくかぜ・ロタ				
	受付・接種時間: 13時~ 16時~16時30分				
10月	3日(火) 27日(金)	6日(金) 31日(火)	13日(金)	17日(火)	20日(金)
11月	10日(金)	14日(火)	17日(金)	24日(金)	

御予約は接種日の前々日まで受け付けています。
予約電話番号: (0740) 27-0101
電話受付時間: 毎週月曜~金曜日の正午から17時まで

テーマ 『糖尿病』 健康教室のご案内

開催についてのお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10月・11月の開催は中止といたします。

~当院では生活習慣病などを学びたい方のために『健康教室』を開催しています。~

場所: 2階図書室

どなたでも自由にご参加できます。(入場無料)

※ 12月以降の開催は未定